

令和2年度 第2回鹿児島市清掃事業審議会 会議概要

【日 時】

令和2年11月26日（木） 14時00分～15時28分

【場 所】

市役所東別館9階 特別中会議室

【出席委員】

井上委員（会長）、内委員、鬼塚委員、川崎委員、川畑（宏）委員、川畑（義）委員、田尻委員、根建委員、百武委員、宮竹委員、三原委員

【会 次 第】

- 1 開会
- 2 会長あいさつ
- 3 議題
 - （1）家庭ごみマイナス100gに向けた当初の目標と現状、今後の取組の方向性について
 - （2）一般廃棄物処理基本計画の総括及び次期計画骨子原案の方向性について
- 4 その他
- 5 閉会

【議事概要】

○広報啓発活動について

委 員：ごみ分別説明会は年間約8,000人が参加のようだが、さらに増やす予定はあるか。

事務局：ごみ分別説明会については、要望があれば職員が出向いて実施している。現在、対象者は町内会やお達者クラブが主だが、今後は企業などにも行けるよう関係課と連携していきたい。

委 員：市のごみ分別アプリは分かりやすいので、もっと広めていってほしい。

事務局：ごみ出しカレンダーへのQRコード掲載等により、周知に努めている。また、今年10月から開設した市のLINE公式アカウントでもごみの分別検索ができるようになっている。

○SDGsへの対応について

委 員：今年7月に鹿児島市が国のSDGs未来都市に認定された。市民を巻き込んでやっていくためにも、これからの計画策定にあたってはSDGsの視点と関連付けていくことが必要ではないか。

事務局：次期計画策定にあたっては、骨子原案にある基本方針ごとにSDGsの17の視点を取り入れていくことを考えている。

○違反ごみへの対応について

委員：分別が守られていないごみステーションへはどのような対応をしているか。

事務局：マンションであれば管理会社に伺い、分別チラシやごみ出しカレンダーを渡して指導している。場合によっては、早朝に清掃事務所の指導員を現場に立たせて指導することもある。

○新南部清掃工場バイオガス施設について

委員：いつから稼働で、どの程度のごみを処理できるのか。

事務局：現在建設中であり、令和3年12月に完成し、令和4年1月からの本格稼働を予定している。1日60トン进行处理し、20トンを減量化し、残った40トンを焼却する形で考えている。なお、発生したメタンガスはガス事業者に売却し、市内の約1万世帯分が供給されることになる。